





2007.10月号

・念、 岩をも通す2007

茗渓塾教務部 03-3659-8638

茗渓塾塾長 宇野 雅春

急に秋の気配がしてくると、親は受験の時期をひしひしと感じ始めます。行事に追われ疲れ気味の生徒の方も、実は受験のことが気になり始めているのですが、何しろ学校行事で忙 しく、おまけに体調不良。熱を出したり、おなかを壊したり、災いは次々と襲いかかります。 しく、おまけに体調不良。熱を出したり、おなかを壊したり、災いは次々と襲いかかります。親に「やる気がない」となじられ、塾の先生からも「いよいよ受験!」とあおられ、でもめげないで楽しく塾に通っているというのは、本当はすごいことではないかと思ってしまいまでも、よく見ると、子供の中にも一人一人微妙な違いがあるのです。全体として、今までとは違って授業に集中してくる生徒が多くなってきています。一方で、どうも授業もいていない生徒もいます。授業というのは集団だから、一人一人は見えないと思う親もいるからはつきりわかります。小学生などは親の意志が強く、親の指示であれこれやらされてもあらはっきりわかります。小学生などは親の意志が強く、親の指示であれこれやらされてもりに「親に見せる」勉強に終始しますので、成績は最後まで上がりません。つまり勉強の下親に見せる」勉強に終始しますので、成績は最後まで上がりません。つまり勉強のないという状況です。受験というのは、それぞれの子供の成長の「物語」を伴っていないという状況です。受験というのは、それぞれの子供の成長の「物語」を伴っていないと、成功しないものです。昨年も、そんな「物語」はたくさんありました。昨年中学入試で指導したN君は小4、小5ではかなり出来たのに、6年になって「算数」がとれなくなった生徒です。基本は出来るのですが、応用になると途端に、全く手が着かな

昨年中学入試で指導したN君は小4、小5ではかなり出来たのに、6年になって「算数」がとれなくなった生徒です。基本は出来るのですが、応用になると途端に、全く手が着かない状況になります。説明しても説明しても「?」。算数が得意な友達は適当に答えを出して、あっていたら見直しもせず、余裕を作ってはすぐ「おしゃべり」となります。わからないと感じているN君は授業に食いついてきます。授業後も何度も質問に来ますがいまいちわからない?印象でした。算数の「不得意」は、基本的なことを「落としている」か、「計算力」に問題があるか?「勘違い」が多いか?です。でも、わかるまで聞くという姿勢は、私にはいずれ「わかる」はずという確信を感じさせていました。一生懸命やっているのだけれど、成果が出ないこの状況は、「合不合判定テスト」の結果にも出てきます。算数が常に足を引っ張っています。でも、本人の授業への集中の姿勢は変わらず熱心でした。そうして始まった受験によります。でも、本人の授業への集中の姿勢は変わらず熱心でした。そうして始まった受験によります。

そうして始まった受験。滑り止めはクリアしたものの第2志望、第3志望はことごとく不合格でした。第一志望をどうするか?指導している私達もぐらつくものです。やっぱり算数はどうにもならないのか?でも本人の第1志望校受験の意志はぐらつきませんでした。そこ はこうにもならないのが?でも本人の第1心室仪支帳の思心はくらうさませんでした。そこで、もう一度算数の難しい問題を一題ずつチェックしてみました。思ったより「解ける」印象です。国語には多少ムラがあるものの理科社会の知識もかなり深いものがあり、合不合判定テストでもその教科は成績がとれています。過去問もそれなりにできているし、本人の勉強の意志が思くればしまっている。 算数で差が開く中学入試で「合格」は厳しいのではないか?不安はつきないもの。ただ、本 人の勉強ぶりを見ていると、「もしかしたら」という気持ちになったのも事実です。そして第一志望の入試が始まりました。私が本人とあったのは2日目の押さえ校入試の早朝激励の時です。さわやかな笑顔で嬉してうに目の前に現ました。押さえ校は確実に合格できると 思っていました。実はその日が第1志望校の合格発表の日。引率してきたお母さんは不安そうです。「大丈夫ですよ!」ついこんな言葉が出てしまいました。私の方は、今日の押さえ 校の入試が大丈夫というニュアンスが強かったのですが、発表を数時間後に控えた親として は、第一志望が大丈夫と聞こえたようでした。ちょっとドキっとしました。自然と口から出てしまったのですが、無責任な発言だったかも?とちょっと悩みました。ところが塾に戻る と、「N君が合格したそうです。」と先生達は大喜びでした。本人の一念が「合格」を導いた 。 のです。

その日、千葉、埼玉で苦戦していた生徒の中の第一志望合格をいくつか聞くことになりました。どの子も失敗に屈することなく黙々と頑張り続けた結果です。入試問題が多様化して した。この「も人気に出することなく然々と関係り続けた相果です。人民間屋が多様化している中でこの傾向は強まると思います。全てに合格するような網羅的な勉強では第一志望を逸するし、第一志望を強烈に意識した受験勉強では、他のハイレベル校では不合格になりやすいということです。高校入試、大学入試も同じ傾向があります。いずれにしても「一念、岩をも通す」が如き強い意志が、「合格」への最大の力といえそうです。